

風しん対策について

2018年秋頃より風しんが流行しており、感染拡大防止のため、定期接種の機会がなく抗体保有率の低い世代の男性に対する抗体検査及び予防接種を実施する旨の骨子が、2018年12月13日付けで国より示されました。予防接種法に基づく定期接種とする方針で、政令改正等の準備が進められているところですが、市は下記のとおり、速やかに且つ丁寧な対応を図ることとします。

1 国の風しん対策の概要

- ① 現在39～56歳男性への抗体検査及び検査の結果、抗体価が低い者への予防接種
- ② 妊娠を希望する女性等への抗体検査

風しんとは

「三日はしか」とも呼ばれ、多くの方は短期間で治りますが、妊娠初期の女性が風しんにかかると出生児が、難聴や白内障、心臓の病気等を持った「先天性風しん症候群（CRS）」を発症する恐れがあります。

風しん報告数

	2016年	2017年	2018年	2019年 (1/16時点)
全国	125人	93人	2,917人	139人
兵庫県	9人	7人	51人	4人
明石市	0人	0人	3人	0人

2 今後の予定

- 3月 広報等による周知
- 4月 39～56歳男性に個別通知で無料クーポン券を配布
※ 個別通知による配布が遅れた場合は、償還払いで対応。
妊娠を希望する女性等には、申込者に対して無料クーポン券を送付

3 事業費

30,000千円

- ※ 平成31年度当初予算に計上。国から財源措置（補助金もしくは交付税等）がされる予定。

4 その他

居住地以外でも風しんの抗体検査や予防接種が受けられるよう、無料クーポン券や受診票、抗体検査等の実施にかかる契約を全国で統一する方向で、厚生労働省が調整中。